

新美術新聞

国立新美術館使用団体決まる

(3面)

5 / 21
2005
MAY
450円

「パトリック・ジェロラ展」

色彩が光と音を奏でる世界

ベルギーの首都ブリュッセルに生まれ現在は日本を拠点に創作活動を行い、「東洋と西洋を共有するベルギー前衛作家」と称されるパトリック・ジェロラ(1959)の展覧会が開かれている。サフタイトルは「色彩が光と音を奏でる世界」。ジェロラは画家である母親の影響を強く受け、プリ



「おもちゃ」 フレスコ、ポリエステル
2005年

壁面等を制作。現在は、愛知万博ベルギー館の出展やテキスタイルデザインに取り組んだ。さらにジェロラは「ベルギーの民間大使」といわれるほど



「赤色の背景の花束」 フレスコ、キャンバス
1999年

エロラ本人が展示空間を演出する。とともにドキュメンタリー映像や写真で作家の活動ぶりを伝えてい

知万博ベルギー館の出展やテキスタイルデザインに取り組んだ。さらにジェロラは「ベルギーの民間大使」といわれるほど

「赤色の背景の花束」 フレスコ、キャンバス 1999年

日本との文化交流にかかわっている。今展は97年から05年に制作したフレスコ画60点、プリュッセル名物の小便小僧らに彩色したオブジェ42点等106点を展示。中でも展覧会に向けて作られた世界4大宝石100個(27・98馬瀬口1799-1)の祭カラット)による新作「祭り」は注目される。また、ジ

の影響力も顕著なジェロラは「自然界に存在する自然固有の色は、人間を気づける葉の役割を果たす」という。

日本文化

★4月23日(土)〜7月3日(日)
メルシャン 軽井沢美術館
(長野県北佐久郡御代田町 馬瀬口1799-1) ☎0267-13210288 因火 曜 曜 一般800円